

総合リサイクル事業

三功で取り扱っているのは食品廃棄物だけではありません。プラスチック、ダンボール、空き缶、ペットボトル、発泡スチロールなど、リサイクルは多種類にわたります。

装置は、分野ごとに強いメーカーに依頼して組み合わせ、制作しています。なるべくシンプルで、修理をしやすくしているのが特徴です。

▶ ペットボトル粉砕設備



▲ 廃プラスチック破碎・洗浄ライン

▶ 段ボール圧縮機



さまざまな段ボールが集められる

あっといふ間にひとまとめにされる

「ゴミつてなーに？」 副社長のお話



「要らないものは「ゴミ」に見えるんです。でもね、ちゃんと分けるとリサイクルできるんです。リサイクル事業者がしている作業の多くは、しっかり分別すること。分別には、人手もお金もかかります。だから、家庭や店舗、会社から出るゴミをしっかりと分けてほしい。残念ながら、リサイクルのための人手が足りない、経費が足りないがために燃やしてしまうしかない「ゴミ」がたくさんあることを知ってほしいと思います。」



一塊およそ1t、整然と並ぶ

津市環境政策課

津市のリサイクル事業

リサイクル事業の一環として「くるりんペーパー」事業を紹介します。

「くるりんペーパー」は、家庭から出される雑紙（お菓子の空き箱など）をトイレットペーパーに交換し、市民の方々にリサイクルの大切さを啓発する環境教育の一環として実施しています。基本的には、小学校などでの拠点回収ですが、津市主催「つ・環境フェスタ」でも交換を行います。是非みなさん、雑紙をお持ち帰りください。

「つ・環境フェスタ」のお知らせ

日時▶ 11月4日(月・休)
場所▶ メッセウイング・みえ展示ホール
内容▶ 家族向けの環境体験や展示、舞台での催し。有限会社三功、三重県環境学習情報センターも出展します。

「靴を脱いで工場に入ろうとした人がいたんですよ。」と、工場長が話してくれました。



▲ スクラバー



仕事を終えたパッカー車の内外を、毎日きれいに洗浄し、明日に備えます。

大型店舗から運び込まれた発泡スチロール



▲ 発泡スチロール減容機



発泡スチロール減容機で熱を加え、150分の1の体積にする

SDGsにどうかかわるか

今後の事業展開について、片野社長に伺いました。

「SDGsは、2030年までと後ろが決まっている。今、いくつかの団体でも活動しているが、それぞれがどうかかわるか、模索しているところです。これまでも社会貢献やパートナーシップを常に念頭に置いて仕事に取り組んできましたが、持続する社会のために地域循環型農業をベースにさらにかかわっていきたくと思っています。」

SDGs(持続可能な開発目標)は国連で採択された2030年までの全世界共通の目標です。

今の私たちが可能な選択肢を将来にも残し、誰一人取り残さず未来に向かうための急務なのです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えするための17の目標



写真資料提供 有限会社三功 協力 津市環境政策課

資源に関わる三功の更なる取り組みが地域に根差し、広く社会に反映していくことを願っています。